

**【NEWS RELEASE】**

2018年10月16日

各 位

 株式会社三井住友フィナンシャルグループ  
 株式会社三井住友銀行

オーストラリア連邦ニュー・サウス・ウェールズ州との覚書締結について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：國部 毅 以下、グループを総称して「SMBCグループ」）、および株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、2018年10月15日に、オーストラリア連邦のニュー・サウス・ウェールズ州（グラディス・ベレジクリアン首相）と、シドニー西部開発（“Western Parkland City and the Western Sydney Aerotropolis”）（ ）に関する覚書を締結しました。尚、同州とのシドニー西部開発に関する協力を目的とした覚書締結は本邦金融機関として初となります。

本覚書締結を通じて、SMBCグループは、ニュー・サウス・ウェールズ州と、オーストラリアへの進出やビジネス強化をご検討されている本邦ならびに世界各地のお客さまとの連携を促進するとともに、本件開発計画に付随する様々なビジネス機会（交通、ロジスティクス、ヘルスケア、教育、再生可能エネルギー、スマートシティ構想を含む住居・商業・コミュニティ施設開発）に関連する各種支援を行うことを企図しています。また、同州とのセミナーの共同開催を通じ、お客さまへの情報提供も行ってまいります。

この度の覚書締結により、当グループおよび当行は、ニュー・サウス・ウェールズ州との協力関係を更に強化し、同州政府がシドニーの主要地域間ならびに国際的なアクセシビリティの向上と、関連分野の経済成長を目指して推進する「Western Parkland City and the Western Sydney Aerotropolis」実現への貢献を目指すとともに、現地におけるお客さまのニーズにより一層お応えしてまいります。

（ ）シドニー西部開発（“Western Parkland City and the Western Sydney Aerotropolis”）オーストラリア連邦政府とニュー・サウス・ウェールズ州政府が推進する大規模開発案件。シドニーにおける継続的な経済成長と人口増加を背景に、同市西部地域を開発し現在の東海岸への一極集中から、より均衡の取れたシドニー大都市圏の実現を目指す計画。本計画では、シドニー西部における第二国際空港（2026年開港予定）を通じた主要地域間ならびに国際的なアクセシビリティの向上や、航空宇宙・防衛産業、製造業、ヘルスケア、運輸・ロジスティクス、農業、教育・研究産業などの関連する経済開発プログラムに注力する予定。尚、同州は同空港、鉄道・道路、病院・教育施設などの建設に今後4年間で873億豪ドルを投資予定。

以 上